

造園通信

発行:2023.3.31
制作:中込造園 広報係

お庭造りのご提案の機会を多くいただいております。今年も「芝」のご要望がほとんどで、中でも人気のものが「M9」。最近では不足しているとの情報もあつたりとタイミングで注文しても手に入らないこともありま

中込造園 ロゴマーク完成

当園は開業25年、今まで沢山の皆様 仲間を支えていただきながらなんとかやってきました。社長が脱サラしてゼロから築いてきた「モノ・コト」をこれから大切にしていきたいという決意と想いでロゴマークを作成しました。空のブルーと植物を表現したグリーンの2つの輪を交差する様子には造園を通じて出会う繋がりや表現し、交差部分は中込の家紋でもある扇で喜びや幸せが広がることを表現しています。これからも沢山の方々との出会いと繋がりで皆様に喜んで頂けるように頑張ります。 (有名企業や国立競技場などのロゴ制作をして頂いた方にデザインしてもらいました)

お庭紹介

先月号で紹介させていただいた3件のお庭です

【富士川町笠井様】富士川町笠井様のお庭 外構工事、芝張り施工をし、芝と土間以外の箇所は防草シートにビリを敷いて完成しました。建物がより引き立つ見え、樹木の芽吹きが楽しみです。



様子見に伺いますね！

【甲府市今村様】

同じくこちらも芝張り工事を施工完成です。先にご紹介させていただいたお宅も皆様 芝は「M9」。管理が楽！と言っても芝なので水やりなど忘れずにしてくださいね！通常の芝と比べて楽！ということですから！



お庭・シンボルツリー

【南ア 神宮司様】

今はやりの平屋のお宅、素敵です。やっぱり平屋は間違いないと個人的に思います。さてお庭は親戚のおじさんが五葉松を真ん中に植えてくださったそう、それを中心にイロハモミジ、エントランスにはアオタマ、アオハダを主木として植栽させていただきました。流木も添えてインパクト大です。



【荏崎市松岡様】

こちらも芝張り工事を経て完成しました。お写真が小さいのでわかりづらいかもしれませんが自然なやわらかい樹形のもので多数使っているのが本当におうちにマッチしたガーデンとなっています。葉が芽吹き芝が青々とするのが楽しみです！また



あのね、爪とき買っ てくれた♡

従業員の庭は？

たまに聞かれることは「皆さんのお庭はやっぱりすごいんですか？」はい！と答えたいのですが、私たちは植木場の管理とお客様のお庭に全力を注いでいてなかなか手が回らない！ですが、しかし！それなりの木は植えています。芝の管理を徹している人もいれば

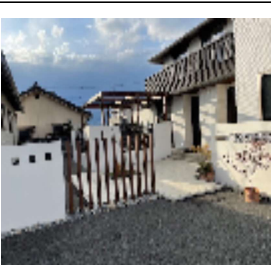
家庭菜園はみんなやっていて 自然樹木ばかり揃えて雑木のお庭になっている人もいればそれぞれです。空いた時間や仕事が終わった暗くなるまでの夕方1時間くらいでやりたいことをやるそうです。人気のアオタマなんかはみんな植えているみたいで すべて



社長の影響が大きいですね！先日専務が思い出したかのように「俺んちアオタマない！」と言いつつ翌日に行ってみると、しっかりと仕上げてました。流石ですね…。

いよいよ春の仕入れが始まりました。今年も春の植木まつりに向けてガンガン入荷されています。やはり若干全体的に価格が上がってきているような感じで、特に価値があがっているのがやはり「アオタマ」。2022年の人気樹木ランキングにも1位にノミネートされています。当園はそれを見越して現在100本以上の在庫をご用意しています。今年も皆様に楽しんで頂けるように沢山仕入れしますの

春の市場



【田富町 中山様】シンボルツリーにアオタマがありました。がちよつと小さかったかな！というところで差し替え。これぞ樹1本の力でしうか。イメージがガラッと変わりました。(右：施工前 左施工後)



ニギハヤヒ

1/1は約り解禁日。社長筆頭に従業員も夜中から出て行ったそうです。一人の従業員は社長に「夜中から行けばつれるぞ！3時な！」と騙されて社長は5時場所所どりにりようされたかも



しれませんね(笑) お魚は日が昇る時間からですよ。もう一つ

この時期の楽しみは山菜ですね。まずは春の使者「路の薑」です。社長の採る量は半端なくそれに刺激された従業員は「社長場所所教えてください」「やだ」「社長 ヒントは！」「あつち」

ウは抗癌性も高く 体にいいみたいですね！これらも社長の奥様がまたお弁当に入れてくれたり お客さんに差し上げる拭き味噌になったりします。専務さんもやるの？神出鬼没とはまさにあの人のことで 畑もやりま

とどつてくるみたいなの謎な人です。今は皆さん魚と路の薑も落ちていて畑準備ですかね。一人だけまだ路の薑！と追っている従業員がいますが、とりあえず放っておきましょう。



買い換えた耕運機 ご機嫌です。

続編・落葉樹・常緑樹

間にも取り上げられ当日も記者が来ていますが、実は！毎年(たまたま)映っているのは…社長！しかも今年は真ん中・

落葉樹とは？「冬になると全ての葉を落とす樹木」のことです。休眠中の冬に全ての葉を落とし、春になると新しい葉を出す樹木のことを「落葉樹」と呼びます。葉の色や枝振りがやわらかな雰囲気のものも多く、1本で存在感を出したい時や、家を包み込むように、ナチュラルガーデンによく似合います。さわやかで明るい



良いものを仕入れるため雨でもカッパを着て頑張っています！

冬に葉を落とさず「一年中緑の葉を茂らせる樹木」のことです。葉が厚めで、一年を通じて葉を落とさない樹木が常緑樹です。どっしりとした重厚感がある木が多いです。目隠しとして使うこともできますがライトアップなどには不向きなものが多いです。※ただし、葉の寿命もあり、1年・数年で落葉して新しい葉と入れ替わる樹種もあります。一年中葉が多い茂り、鑑賞には良いですが、庭の場合下草が育ちにくい面もあります。

庭の植える場所によっても落葉樹は半日陰の涼しい場所に、常緑樹は日当たりの良い場所にと、おまかに覚えておくのもシンボルツリーを決めるうえで役に立つのではないのでしょうか。というのも、すべてではありませんが傾向として落葉樹はもともと冬に寒くなる地域の植物です。夏の暑さにはあまり強くありません。暑さだけでなく乾燥にも弱いので、夏の時期弱っている様子であれば、朝涼しい時間のうちに水をあげるなどの対策も必要です。そして、常緑樹は暖かい地域の植物です。比較的暑さ・乾燥には強いのですが、冬の冷たい北風で枯れてしまうこともあるので寒い地域の場合は注意が必要です。せっかく植えたシンボルツリーが1年ほどで枯れてしまふようなことは悲しいので、やはり植えたい樹木の情報は調べて、自分の住んでいる地域の気候や環境にあっているかを知ることも大切で



山火事

先月甲斐市で山火事がありましたね。実は当園植木場向かいの山でした。1日中ずっと防災ヘリが真上を飛んでいました。火の元には注意しましょう。

アルバイト ひとみ ちゃん

仕事の実話をなるべく短めに文字にしたコマです。

ひ：「水汲んできまーす！」

と元気に軽トラで出かけ 15分後・・・

「戻りました！」「よいしょよいしょ」

従①「なんか、軽？」「タンクの水どれも少なうねーか？」

ひ：「え？だって重いんだもん！！」

従①「ばか」 従②「ばか」 従③「ばか」 専務「無言（チラ見）」

ひ：「ごめんなさーい！」

お家の「シンボリック存

在「・庭の象徴」であり、存在感を放つ樹木を指します。1本大きめの木を植えるだけでも家全体が華やかに見えますし、家族とともに成長していく木が住まいの象徴にもなります。そんなシンボルツリーですが、落葉樹と常緑樹、どちらを選ぶのが良いのかよく聞かれます。これには正解はなく、状況により判断する必要があります。例えば、スモークツリーやジュンペリなど落葉樹で季節感を演出しながら、冬に殺風景にならないよう、オリーブなどの常緑の樹木をフラスする。常緑でも、オリーブのシルバーリーフを持つ樹木を選べば軽やかな印象になります。常緑樹の濃い目の葉色、落葉樹の淡めの葉色、その組み合わせが庭の表情を豊かにします。